

## 平成30年度第1回鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会 会議録

開催日時	平成31年2月6日(水) 午後1時30分から午後3時まで
開催場所	鎌ヶ谷市本庁舎3階 303会議室
委員出席者	伊藤勝、五味川理智、小山与之子、矢崎博一、平方圭子(以上敬称略)
事務局出席者	中川聡(クリーン推進課課長) 富田浩司(クリーン推進課主幹) 焼貝浩(クリーン推進課業務係長) 木村我道(クリーン推進課計画管理係) 沼中裕一郎(柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合クリーンセンターしらさぎ計画係長) 岡田壮玄(柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合クリーンセンターしらさぎ計画係主査)
傍聴者	なし

### < 審議内容等 >

#### 1 会議の成立について

鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会の委員定数10名に対し、出席委員5名であり、会議は成立した。

#### 2 会議録の署名人の選出について

市内在住委員の名簿登載順で、出席委員の中から、会議録署名人は五味川委員、小山委員に決定した。

———— 今回の会議は傍聴者なし ————

#### 3 議題(1) 一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)(案)について

事務局説明：本計画の策定経緯、今後の予定等について説明  
質疑応答

矢崎委員

3点質問があります。1点目は収集運搬計画で、前回の計画でも述べていたと思いますが、柏市と鎌ヶ谷市で分別方法が異なっているので、できれば統一を検討したいと前回の計画ではあったが、それから6年程経つが現段階で統一に向けてどういった検討をされていますか。2点目は福祉行政との連携として、高齢者世帯が増えていくなかで個別収集等を含めて具体的にごみの収集運搬はどのようなサービスを検討していますか。3点目は環境に配慮した収集車とあるが現段階では低公害車が導入されていないのでないのか、低公害車についての今後の見通しについてお聞きしたい。以上の3点になります。

事務局

質問1点目の回答として環境衛生組合は鎌ヶ谷市の分別区分と柏市の旧沼南町分別区分との統一につきましてはいろいろな側面から調整しております。柏市でも旧柏市と旧沼南町との分別区分の統一がされていない状況です。現在、旧柏市と旧沼南町の分別統一の検討に入っております。その分別統一が検討された後に鎌ヶ谷市と柏市の分別統一をしていく方向で検討しています。質問3点目の回答として環境衛生組合は低公害車の導入について現状は検討をしていますが、CNG車を活用できないかということで経費面を含めて収集運搬会社と活用できないか検討しているところです。質問2点目の回答としては最終的には環境衛生組合の方で集約して収集についての形づくりをまとめていくことになると思いますが、今の段階では各構成市の柏市・鎌ヶ谷市それぞれの市域の中でこういったサービスが適切なのか、こういった形をとるのが望ましいのか、こういったニーズがあるのか等を福祉部門と確認、調整をしている段階です。環境衛生組合は近隣市の状況を調べている状況です。ふれあい収集で高齢者に対する個別収集の実施、又はそこまで必要でない方へのごみ出しのサービスが各市町村の中でどのような形でやっているのか調査をしております。また、その中でも福祉行政主体でいくのか廃棄物行政主体でいくのかの取扱いについても調査していますので確定次第ご報告したいと思っております。

矢崎委員

前回の計画は3Rですが、今回は2つ増えて5Rになっています、これは他市でも実施されていますか。3Rから5Rになっているだけで市民としてはわかりづらくなっているような気がしますのでPRを上手にやって欲しいです。

事務局

確かに3Rから5Rに増えることによって、複雑になるイメージを持つと思われます。しかし、基本は3Rでいきたいが、5Rということで2つのRを増やしている、5Rになることで、例えばキーワードが増えることで減量化の幅が増えるし、さらに減量化につながることも増えると考えております。また、従来の3Rに加えてリフューズ・リフォーム・リペア・レンタルと形を変えてやっている逗子市のような7Rの促進をしている自治体もあります。

小山委員

高齢者のごみ出しですが、負担になっているとは思いますが、高齢者は地域との結びつきもありますので、近所の方が朝寄ってごみ出しを手伝ったりしておりますが、新住民の方は捨て方について徹底ができていないようで、出す時にいろいろ問題が出てきています。スマホのアプリで分別区分が見られるようですが、捨て方について新住民にも啓発を徹底できると良いのではないかと。

矢崎委員	中間処理計画の焼却処理施設の耐用年数が10～20年になっており、延命措置をしても限界があると思うが、どのくらいが大丈夫といえるのですか。
事務局	従前は20～25年と言われておりましたが、ただし、なかなか建替えができないという現状から、国の方では施設の長寿命化計画を策定した上で改造工事を実施し、設定してそこからさらに10～15年追加されるので35年から40年程度の施設稼働は可能と思われます。
五味川委員	小学校・中学校に対してどのようなごみの啓発をしていますか、また、出張授業や社会科見学等をどこまでやっているのですか。
事務局	小学校につきましては鎌ヶ谷市内の4年生全員に来てもらい分別の大切さ等をお伝えしております。環境衛生組合では現状4年生の環境学習のそこだけの対応になっております。アクションとしてはやれていない部分もあるので、もっとより踏み込んだ形をとればと考えております。
五味川委員	子供たちから大人へのごみの分別の指摘が出るくらいの認識を持ってもらいたい。プラスチックの捨て方も細かいところまでわかるように子供が興味を持てるように出張授業や社会科見学で教えていただけたらよいのではないかと。
小山委員	エコネット鎌ヶ谷で環境の授業をしてリサイクルの大切さを教えています。小さな活動ですが、市民も活動が続けられたら大きく広がるのではないかと思います。
矢崎委員	広報の一面に「プラごみ」がありましたがどの程度汚れていたら燃えるゴミになるかわからない。みなさん迷っているのではないかと。
事務局	プラスチックの出し方についてはベール状にしてリサイクル業者に引き渡している。日本容器包装リサイクル協会の引取り品質ガイドラインがありまして、公益財団法人の基準で汚れの付着しないものがありまして基本的な考え方としてはさっと水で洗って、洗っている形跡があれば大丈夫です。ただし、有機物自体が付着してしまっているとすればそれはダメですとの解釈です。基本的には水でサッと洗い流せる程度で大丈夫です。
事務局	先ほどの質問のごみの啓発の補足事項ですが、クリーン推進課でも小学校の1年生と4年生を対象に環境教育の為の簡単なパンフレッ

トを作成し、小学校に配っております。

伊藤会長

環境衛生組合に4年生が来て見学されるのですね、その時に課題として「お宅の家では何をやられているのですか。」というのを書かせてしまうとよいのではないかと。自宅でどんなことをやられているのかをその場で書くか、親に聞くと家庭への浸透が早いのではないかと。

#### 4 議題（2）プラスチック減量の取組指針について

事務局説明：本指針の策定について説明

質疑応答 なし

#### 5 議題（3）災害廃棄物処理計画について

事務局説明：計画の策定について概要説明

質疑応答 なし

### 会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

平成31年 3月20日

氏名 五味川 理智

氏名 小山 与之子